和教時報

2024年11月15日（金）発行　第2015号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

和教組ゆるキャラ みばん

仲間を誘って　みんなで那賀に！

両日入場無料　未来をひらく教育のつどいIN那賀

いよいよ、未来をひらく教育のつどいIN那賀が迫ってまいりました。
開催地である那賀ではこれまでに現地実行委員会を開催し、多くの人が集い、教育を語ることができるように準備してくださっています。

一一月二二日（金）一八時一五分から粉河ふるさとセンター小ホールでの全体会では認定ＮＰＯ法人Dialogue for People（ダイアローグフォーピープル／Ｄ４Ｐ）フォトジャーナリストで同団体の副代表でもある安田菜津紀氏を講師に招き「紛争地、被災地に生きる人々の声～取材から見えてきたこと～」という演題での講演を行います。安田氏は東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進めており、東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けています。安田氏の講演から子どもたちをはじめ、すべての人々が安心して暮らせる社会について考えたいと思います。

安田菜津紀氏
©Dialogue for People

那賀高校ブラスバンド部

また文化行事として那賀高校ブラスバンド部の演奏もありますので楽しみにしていてください。

二日目の一一月二三日（土）は九時受付、九時三〇分開始、場所を那賀高校に移して、一七の分科会を行います。教職員・保護者・各団体から現段階で五七本の報告があります。また研究者からのミニ講演などがある分科会もあります。子どもたちの姿、学校の様子などを話し合うことでいくつもの新しい発見や気づきが生まれます。和歌山県下から多くの方に参加していただき、とっても楽しい教育のつどいにしましょう。

両日参加無料です。みなさん、仲間を誘って、那賀に集合しましょう!!

子どもたちのために旅費の増額を！
（第3回確定交渉より）

ピンのスポット 425

先日、文科省は二〇二三年度の不登校児童生徒の調査を発表しました。小学校では一三〇，三七〇人、中学校では二一六，一一二人、高校では六八，七七〇人と四〇万人を超え過去最高だったことが明らかにされました。県内でも同じ傾向で六年連続過去最高となっています。これは子どもたちにとって学校が居場所になっていないことの表れであります。

文科省は学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）という制度を打ち出しています。不登校の児童生徒に合わせて特別の教育課程を編成することが認められている学校です。

どの学校でも学習指導要領に縛られず、柔軟に教育課程を編成できていれば、わざわざ特例校にしなくて良いのではと思います。文科省も学校が子どもたちの居場所になっていない原因に学習指導要領どおりの教育課程編成にあることを認めてるのでしょうか？

（Y）

第57回教育要求県民集会

保護者が語る教育のねがい　動画で生徒も訴えた！

和教組　副執行委員長　野口　共

教育要求県民集会は、一九七一年から行われている、保護者等が教育要求を直接教育委員会幹部に訴え、高校の学級増設や障害児学校建設、父母負担軽減などさまざまな成果をあげてきた集会です。

今年も切実な教育要求が九組の方々から語られました。今回は聴覚障害の方が参加されるということで手話通訳もお願いしました。

障害児教育にかかわることでは、障害児学校へ通う児童生徒数が定員を超え、通学時間が長時間に及ぶ状況の中、那賀地域や和歌山市内へ新設障害児学校を新設してほしいという要望が出されました。

また障害児学校のグラウンドやトイレなど施設設備についての要望、聴覚障害者の方からは、ろう学校の寄宿舎への思いを生徒の声も交えて語られました。

県教委は障害を持つ子の教育を受ける権利が軽視されていると保護者等に思われないように障害児教育にかかわるさらなる教育環境の充実を図るべきです。

毎年この集会では、保護者などの切実な教育要求が語られます。この声を私たちも重く受け止め、地域・保護者とともに引き続き運動を進めていきたいと思います。

すべての子どもたちに ゆきとどいた教育を求める全国署名（教育全国署名）

一〇月下旬の夕方ということで、暗くなる中で署名を取るには、あまり良い状況ではなかったですが「教育予算を増やして教育の充実を求める署名です」と声をかけると足を止め署名してくれました。

日本の「公財政教育支出の対ＧＤＰ比（二〇二〇年）」は二・九八％とＯＥＣＤ諸国の中で最低レベルです。これをＯＥＣＤ諸国平均の四・二八％まで引き上げれば、小中学校、高校までさらなる少人数学級の前進や公立・私学ともに就学前から大学までの教育無償化など、ゆきとどいた教育を保障する教育条件整備をすすめることが可能になります。

皆さんの職場でも署名を呼びかけ、教育予算の増額の思いを国会へ届けましょう！

教育全国署名は、一九八九年から三四年間、全国で取り組まれている署名で毎年三〇〇万筆ほど集約されこれまで約四億七七〇〇筆が紹介議員等を通じて国会へ提出されています。

和教組も加入する民主教育をすすめる和歌山県民連合（教育連合）では一〇月二五日（金）一七時半よりＪＲ和歌山駅前で署名宣伝行動を行いました。

統廃合問題を考える

伊都支部　書記長　窪田　賢

二〇二四年三月に橋本市教育委員会が、検討委員会の答申を受け「第二期橋本市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」を出しました。内容は二〇二七年度から三年間で小学校八校を四校にするという方針です。五月下旬から保護者や地域への説明会が始まりました。説明会で出された質問や意見を一部紹介すると「三年という短い期間で計画を行うのはなぜか」「私たちが反対したら計画が中止されるのか」「小学校が近いから家を購入したのに遠くに通学するのは心配」など、どれもまっとうな思いです。また、ある小学校では地域住民の有志で「地域住民との合意のない学校再編反対」署名に取り組んでいます。一方橋本市教育委員会は、当初の統廃合の目標年度や対象校を見直し、来年一月頃から再度地域説明会を行う予定です。教育委員会は「一学年二学級以上の良さ」を説明会でも強調していますが、しかしながら、小規模校には小規模校の良さがあります。

最後に、その地域における学校の統廃合は、保護者や地域住民の合意と納得のもとに進めるべきと私は思います。

87名が参加　日高地方教育研究集会

授業に生かせる！不安が話せた！

日高支部　書記長　井戸　保

一〇月二六日（土）午前九時三〇分より御坊小学校を会場に、日高地方教育研究集会（支部教研）を行いました。一般の方や未組合員、他支部組合員の参加もあわせ一一分科会で八七名の参加となりました。

支部教研の開催は、三一名の教科教育研究部の方たちが中心です。七月二九日に全体会を持ち今年度の支部教研成功に向けてのとりくみがスタートしました。約一ヶ月間分科会ごとにとりくみを進め、九月初旬に各分科会の内容を載せた実施要項を作成し、管内全校に発送し広く参加を呼びかけました。

当日は、各分科会において実践報告や参加者の実践交流、作品作りなどが行われました。参加者からは、「日頃の悩みやこれからのICTの使い方について意見交換でき良かった」

「授業に生かせるアイデア・教材・教具を教えてもらえた」「自分も不安なことを話せて気持ちが楽になった」「教科では何を教えるべきなのか、授業の進め方について話したことが良かった」「他の学校の先生と会える機会が少ないため、集会で会えてうれしかった」「参加者が少ないのは残念で寂しいが、少人数の方が話しやすく良かった」などの声が寄せられました。

最後に、分会で未組合員の講師さんに教研参加を呼びかけ、教研当日他の教研参加者と組合加入の働きかけをし、一名の組合員拡大が進んだことをお伝えして、支部教研の報告とします。

もう一度行きたい

あんなトコ こんなトコ ええトコ

6

マレーシア・ランカウイ島

有田支部　八幡小分会　川口　爽代

私は海外旅行が大好きだ。新しい地に着くと、時間や人付き合いに縛られず、自由な時間を過ごせる。これまで一〇カ国以上に出かけたがマレーシアのランカウイ島はよかった。ビーチがきれいな田舎の島で、大学生の時に友達と二人で旅に出た。

ランカウイ島の三つの魅力について紹介する。

一つ目は、フレンドリーな人たちである。

私たちが二日連続通ったレストランはリゾート感あふれる雰囲気のお店で、アーティストの生演奏が聴ける。レストランのおっちゃんがデザートにスイカをくれた。その後バーに連れて行ってもらった。聞いたことのない独特な音楽が爆音で流れるバーは新鮮で楽しかった。

タクシーのおっちゃんは毎日迎えにきてくれ、最後に私がビーチに忘れ物をするとわざわざ取りに戻ってくれた。ユニクロのTシャツを送ってねと住所の紙を渡してくれた。XLサイズだと。

二つ目は、ほどよい田舎感である。のどかで時間がゆっくり流れているのを感じられた。スーパーやコンビニはほとんどない。家の扉はどこも開けっぱなし。人も少ない。散歩をするのが楽しかった。

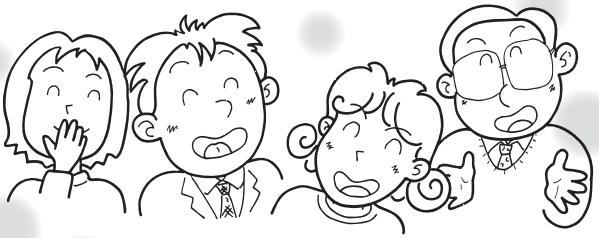
三つ目は、ビーチの美しさだ。マレーシアのランカウイ島からタイのリペ島に船に乗って行った。初めてみる美しい海に驚いた。白い砂、柔らかい水色が広がる海、移動は木製のボート。美しい。一日中、海で遊び、ビーチで過ごした。

激しくながれる時間、押し寄せる仕事、そんな時ふとランカウイ島を思い出す。

安心と信頼

教職員のための

『教弘保険』



（公財）日本教育公務員弘済会　和歌山支部

提携保険会社：ジブラルタ生命保険株式会社

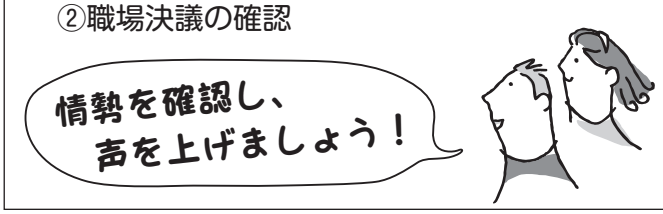
■和歌山第一営業所　073-421-8250
■和歌山第二営業所　073-421-8250
■和歌山第三営業所　073-421-8250
■橋本営業所　0736-33-1620
■田辺営業所　0739-22-5751
■新宮営業所　0735-22-0101

求めよう！教職員増員、残業代支給

11月27日は職場会を開きましょう！

来年の１月からの国会で給特法改定などの審議が行われます。これに対して全日本教職員組合（全教）が、「全国一斉定時アクション」を呼びかけています。

職場会ですること

①和教組発行の「和教時報速報」読み合せ

②職場決議の確認